News Release

2026 年 11 月 17 日
アスクル株式会社

アスクル、統合報告書「ASKUL Report 2026」を発行

～新 CEO 体制のもと、セキュリティ、AI、人的資本の強化を通じ、成長への道筋を発信～

アスクル株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長 CEO：成松　岳志、以下「アスクル」）は、統合報告書「ASKUL Report 2026」を発行しました。

本報告書は、“仕事場とくらしと地球の明日（あす）に「うれしい」を届け続ける。”をパーパス（存在意義）に掲げるアスクルの中長期的な価値創造に向けた経営方針や取り組みを、財務・非財務の両面から、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーに向けて伝えることを目的としています。

4 回目の発行となる今回の統合報告書では、新 CEO 体制のもと、蓄積してきた事業基盤を生かしながら、持続的な成長への転換を目指す経営方針を示しています。その実行基盤として、ランサムウェア攻撃からの教訓を踏まえたセキュリティ体制の確立に向けた取り組みを取り上げるとともに、AI を活用した既存事業の再成長と新たな価値提供領域の創出、さらに AI 活用人材の育成や成長領域への人材シフト、次世代リーダー育成など、戦略の実行力を高める人的資本の取り組みを紹介しています。

アスクルは、本報告書を株主・投資家をはじめとするステークホルダーとの対話に活用し、持続的な企業価値向上につなげてまいります。



「ASKUL Report 2026」 表紙

「ASKUL Report 2026」
掲載 URL: https://sustainability-cms-staging5-7-s3.s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/csr/download/pdf/integrated_report_ja_2026.pdf
※英語版は 2027 年 3 月発行予定です。

■表紙デザインについて

仕事場と生活空間のさまざまなシーンを織り交ぜ、お客様とアスクルとの接点を表現しています。多様なお客様の活動を通じて、アスクルが支える日常や仕事の広がりを描いています。

News Release

【「ASKUL Report 2026」の主な内容】

■CEO MESSAGE：蓄積してきた強みと AI 活用で、力強く成長軌道へ回帰する

就任後初となる CEO メッセージでは、自身のこれまでの経験や強みを振り返りながら、ランサムウェア攻撃からの復旧を通じて改めて確認したアスクルの強みを生かし、持続的な成長を目指す経営の方向性を示しています。

中期経営計画の実現に向けて、オリジナル商品や物流などの既存事業の強みをさらに磨くとともに、AI 活用による業務変革を推進し、お客様一人ひとりに最適な提案や価値提供の実現を目指します。

また、「Beyond Retail －小売を超えて、働くを革新する－」を掲げ、人手不足などの社会課題の解決につながる新たな事業領域への挑戦を加速します。さらに、挑戦を後押しする企業文化の醸成やガバナンス改革を通じて、企業価値の向上と持続的な成長の実現を目指す考えを示しています。

■CISO MESSAGE：持続的成長を支えるセキュリティの確立

2025 年 10 月に発生したランサムウェア攻撃で得た教訓を再発防止にとどめず、事業基盤の高度化につなげていく考えを示しています。

その一環として、2026 年 3 月に CISO（最高セキュリティ責任者）を新設し、情報セキュリティを全社およびグループ全体で取り組む重要な経営課題として再定義しました。また、NIST CSF（サイバーセキュリティ・フレームワーク）（※）などの国際標準を活用し、リスクを客観的かつ構造的に評価・可視化する取り組みを進めています。

これらを通じて、サプライチェーン全体の信頼性向上を図るとともに、有事の際にも事業を迅速かつ安定的に継続できる体制の構築を目指します。さらに、セキュリティを「守り」にとどめず、お客様や取引先から選ばれ続けるための企業価値の基盤と位置付けています。

（※）NIST CSF：NIST が策定した、組織がサイバーセキュリティリスクを管理・軽減するためのフレームワーク（Cybersecurity Framework）

■競争優位性をより高めるための戦略　－AI＆テクノロジーによる価値創造－

AI を単なる業務効率化のツールではなく、事業成長とお客様への提供価値向上を実現する重要な経営基盤と位置付けています。そのため、CEO を責任者とする全社推進体制を整え、専門組織を軸に各部門での AI 活用を進めています。

商品採用業務では、AI 駆動開発手法（AI-DLC）の活用により、新システムの開発期間を従来比約半分に短縮するなど、業務プロセスの高度化・効率化を進めています。

営業・マーケティング領域においても、提案先の選定から提案内容の示唆提供までを AI で支援する仕組みを整備し、担当販売店の提案品質向上と業務効率化を推進します。

こうした全社 AI 化とデータ活用を進めることで、人がより高付加価値な業務や新たな価値の創出に注力できる企業への変革を目指します。

■サステナビリティ経営　－人的資本の強化－

経営戦略と人材戦略を連動させ、AI と人との協働によって成長を生み出す「成長循環モデル」を示しています。その実現に向け、「AI 活用人材の育成」「成長領域へのリスキル」「次世代リーダー育成」の 3 つを重点方針に掲げています。

AI 活用人材の育成では、専門組織や各部門で任命された「AI アンバサダー」を中心に、現場での実践を通じて AI 活用を全社に広げています。

また、成長領域へのリスキルを推進し、成長領域への人材シフト数を、2026 年 5 月期の 55 名から 2029 年 5 月期には 100 名以上へ拡大することを目指します。

さらに、次世代経営人材を 60 名以上育成することを目標に、年齢や性別にかかわらず、能力・成果を発揮する人材を幅広く発掘・登用していきます。

【その他の掲載コンテンツ】

テーマ	掲載内容
イントロダクション（P.2-7）	・ASKUL WAY ・アスクルの強み ・CEO MESSAGE
セキュリティ強化の取り組み（P.8-10）	・セキュリティ強化の取り組み ・CISO MESSAGE
経営戦略（P.11-19）	・外部環境認識と不足している資源・課題 ・ASKUL 2050 Vision ・中期経営計画 ・CFO MESSAGE
競争優位性をより高めるための戦略（P.20-26）	・共創資本 ・進化する強み ・AI＆テクノロジーによる価値創造 ・ロジスティクス戦略
サステナビリティ経営（P.27-49）	・事業と一体化した取り組みで「サステナビリティ経営」を推進 ・アスクルのマテリアリティ（重要課題） ・人的資本の強化 ・社外取締役対談 ・役員一覧 ・コーポレート・ガバナンス ・リスクマネジメント ・会社情報／株式情報